

## 平成 28 年社会生活基本調査の概要

### 1 調査の目的

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動（「学習・自己啓発・訓練」、「ボランティア活動」、「スポーツ」、「趣味・娯楽」及び「旅行・行楽」）について調査し、仕事や家庭生活に費やされる時間、地域活動等へのかかわりなどの実態を明らかにし、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的としている。

この調査は、昭和 51 年の第 1 回調査以来、5 年ごとに実施されており、今回（平成 28 年 10 月）の調査は 9 回目に当たる。

### 2 調査期日

調査は、平成 28 年 10 月 20 日現在で行った。

ただし、生活時間の配分については、10 月 15 日から 10 月 23 日までの 9 日間のうち、調査区ごとに指定した連続する 2 日間について調査した。

### 3 調査対象

総務大臣が指定した 135 調査区(全国では 7,311 調査区)の中から無作為に選定した 1,620 世帯（全国では約 88,000 世帯）にふだん住んでいる 10 歳以上の世帯員を対象とした。

### 4 調査事項

(1) すべての世帯員に関する事項

世帯主との続柄、出生の年月又は年齢、在学、卒業等教育又は保育の状況

(2) 10 歳未満の世帯員に関する事項

育児支援の利用の状況

(3) 10 歳以上の世帯員に関する事項

氏名、男女の別、学習・研究活動の状況、生活時間配分及び天候 など

(4) 15 歳以上の世帯員に関する事項

介護の状況、就業状態、勤務形態、仕事の種類、ふだんの 1 週間の就業時間 など

(5) 世帯に関する事項

世帯の種類、10 歳以上の世帯員数、10 歳未満の世帯員数、住居の種類 など

### 5 調査の方法

総務大臣 — 都道府県知事 — 指導員 — 調査員 — 調査世帯

## 用語の解説

### 1 生活時間に関する事項

この調査では、1日の行動を20種類に分類し、時間帯(15分単位)別の行動状況(同時に2種類以上の行動をした場合は、主なもの一つ)を調査した。

#### (1) 行動の種類

20種類の行動を大きく3つの活動にまとめ、睡眠、食事など生理的に必要な活動を「1次活動」、仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動を「2次活動」、これら以外の各人が自由に使える時間における活動を「3次活動」とした。

一次活動	{	睡眠 身の回りの用事 食事
2次活動	{	通勤・通学 仕事(収入を伴う仕事) 学業(学生が学校の授業やそれに関連して行う学習活動) 家事 介護・看護 育児 買い物
3次活動	{	移動(通勤・通学を除く) テレビ・ラジオ・新聞・雑誌 休養・くつろぎ 学習・自己啓発・訓練(学業以外) 趣味・娯楽 スポーツ ボランティア活動・社会参加活動 交際・付き合い 受診・療養 その他

#### (2) 活動時間

1日の活動時間は、一人1日当たりの平均時間数で、「総平均」、「行動者平均」及び「週全体平均」により記載している。

「総平均」：該当する種類の行動をしなかった人を含む全員についての平均

「行動者平均」：該当する種類の行動をした人のみについての平均

「週全体平均」：次の式により曜日別結果を平均して算出した。

$$(\text{月曜日平均} + \dots + \text{日曜日平均}) \div 7$$

## 2 生活行動に関する事項

この調査では、自由時間における活動のうち、「学習・自己啓発・訓練」、「趣味・娯楽」、「ボランティア活動」及び「旅行・行楽」について、過去1年間(平成27年10月20日～28年10月19日)の活動状況をそれぞれの種類別に行ったか否か、行った場合には、1年間の活動の頻度や目的などを調査した。

### (1) 学習・自己啓発・研究

個人の自由時間の中で行う学習、自己啓発や訓練。社会人の職場研修や、児童・生徒・学生が学業(授業、予習、復習)として行うものは除き、クラブ活動や部活動は含む。

### (2) ボランティア活動

報酬を目的としないで自分の労力、技術、時間を提供して地域社会や個人・団体の福祉のために行っている活動。

### (3) スポーツ

余暇活動として行う「スポーツ」。なお、職業スポーツ選手が仕事として行うものや、児童・生徒・学生が体育の授業で行うものは除き、クラブ活動や部活動は含む。

### (4) 趣味・娯楽

仕事、学業、家事などのように義務的に行う活動ではなく、個人の自由時間の中で行うもの。

### (5) 旅行・行楽

旅行は、1泊2日以上にわたって行う全ての旅行をいい、日帰りの旅行を除く。行楽は、日常生活圏を離れ、半日以上かけて行う日帰りのものをいい、夜行日帰りを含む。

### (6) 行動者数、行動者率及び平均行動日数

「行動者数」：過去1年間に該当する種類の活動を行った人(10歳以上)の数。

「行動者率」：10歳以上に占める行動者数の割合。次の式により算出した。

$$\text{行動者数} \div \text{10歳以上の人口} \times 100 (\%)$$

「平均行動日数」：行動者について平均した過去1年間の行動日数。